

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターきらり			
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		～	2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2026年2月27日		～	2026年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育プログラムが固定化されていない。	振り返りを行い、活動に反映させている。子どもたちの意見を取り入れながら活動を設定している。 専門職を交えた集団療育にも取り組んだ。	余暇活動の充実を図り、自己選択の場面を増やしていく。 会議は定期的実施し、支援の向上に努める。 また、低学年・高学年のグループ活動を設定し、更なる療育活動の充実を図る。
2	地域との交流	今年度もカノアラウレアーズ福岡の選手による運動教室を月1回実施した。 同法人内の事業所と合同で実施することもできた。	運動教室は継続していく。 地域の児童との交流の場を検討していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者勉強会・交流会は年2回実施しているが、参加者が少ない。	勉強会に関してはこれまで児発と同時開催であったが、来年度は放デイのみの開催とし、就労などをテーマに実施する。
2	環境、生活空間	活動内容によっては狭い。体を動かす活動が設定しにくい。	長期休暇等は社会資源（公園や体育館）を活用する。 個室が必要な場合には、個別訓練室を活用する。
3			